

目 次

ブリテンの国制変容とスコティッシュ・ナショナリズムのゆくえ高橋 誠	1
フランス著作権法における撤回権 —人格権と契約の拘束力に関する分析のために—石尾 智久	33
フォークランド戦争をめぐるイギリス外交と欧州政治協力 —ECメンバーシップの正当化の試みに着目して—粕谷 真司	67
一九六〇年代における韓国の集団安全保障体制構想と日米韓関係金 汝 姪	101
投資関連協定における公正かつ衡平な待遇にかかる一考察齊藤 安希子	135
法的判断への人工知能の応用と、法学にとってのその意義西村 友海	165
競争法上の破綻会社の抗弁とその正当化根拠に対する一考察野崎 光 駿	187
英国における労働法の人的適用範囲の拡大に関する法的考察 —EmployeeとWorkerの比較検討に基づいて—長尾 貴子	217
ジョルジョ・アガンベンの高度資本主義批判長島 皓平	251
明治・大正期における「家産制度」論 —臨時法制審議会の議論を中心に—白石 大輝	281
フランスにおける相互依存的契約論の新たな展開 —契約の連鎖的消滅の場面を中心に—渡邊 貴	315